

平成 25 年 7 月 26 日
日本原燃株式会社
東北電力株式会社
東京電力株式会社
リサイクル燃料貯蔵株式会社

(公財)地震予知総合研究振興会
平成 25 年度 第 1 回
下北半島東部の地質構造に関する検討委員会

概要報告

1. 日時 平成 25 年 7 月 17 日 (水) 13:30 ~ 16:10

2. 場所 如水会館 ペガサス (2 階)

3. 出席者

主査	千葉大学 名誉教授	伊藤 谷生 (構造地質)
委員	山口大学大学院 教授	金折 裕司 (構造地質)
	海洋研究開発機構 グループリーダー	高橋 成実 (地殻構造)
	高知大学 特任教授	徳山 英一 (海洋地質)
	産業技術総合研究所 チーム長	阿部 信太郎 (地殻構造)

(敬称略)

事業者 東北電力株式会社 東京電力株式会社
日本原燃株式会社 リサイクル燃料貯蔵株式会社
事務局 公益財団法人 地震予知総合研究振興会

4. 議題

- (1) 開会および振興会事務局挨拶 (事務局)
- (2) 事業者挨拶 (事業者)
- (3) 「下北半島東部の地質構造に関する検討委員会」の目的と実施計画 (事務局)
- (4) 大陸棚外縁断層に関するこれまでの評価 (事業者)
- (5) 今回実施した調査の内容 (事業者)
- (6) 今回実施した調査の結果 (速報) (事業者)
- (7) その他 (事務局)

5. 配布資料

- 資料 1 「下北半島東部の地質構造に関する検討委員会」の目的と実施計画
資料 2 - 1 大陸棚外縁断層に関するこれまでの評価
資料 2 - 2 大陸棚外縁断層に関するこれまでの評価 (机上配付資料)
資料 3 今回実施した調査の内容
資料 4 今回実施した調査の結果 (速報)

6．議事概要

第1回検討委員会の開催に先立ち、本委員会の目的と運営方針も含めて事務局から挨拶があった後、引き続き事業者代表から挨拶があった。特に事務局からは本委員会で議論された内容は事業者のホームページを通じて公開していく予定である旨が述べられた。

主査からは議事進行の冒頭において、本検討委員会は事業者の解析結果をオーソライズするための委員会ではなく、事業者が調査結果をとりまとめるにあたり、それが科学的により良いものになるように学識経験者の立場として協力し、指導・助言するための委員会である。したがって各委員には積極的な議論をお願いしたい旨の発言があった。

主査の議事進行により、事業者から以下3項目について話題提供があった。

- ・大陸棚外縁断層に関するこれまでの評価
- ・今回実施した調査の内容
- ・今回実施した調査の結果（速報）

今回の検討委員会では、事業者から速報的な調査データを一部提示したものの、本委員会の検討対象である下北半島東部の地質構造を本格的に議論するための解析を実施中であったため、各委員からは、現在進行中であるデータ解析における留意点、今後のとりまとめに向けた提言がコメントとして述べられた。

各委員からの主なコメントは以下の通り。

- これまでの評価結果については内容が膨大であり、短時間で理解することは困難である。したがって本委員会での議論に必要とされる部分にポイントをできる限り絞った資料が必要である。
- 今回の調査結果を踏まえた従来の調査結果の再評価も重要である。特に反射法地震探査については、今回の調査結果が深部を対象としたものであるのに対して、従来のデータはその浅部を対象としたものであり、対象深度、分解能の異なる2種類の調査データとして扱うべきである。
- 調査データに基づく地質構造解釈の客観性を高めるためには、調査の適用限界を判断する必要がある。従来の調査結果についても調査仕様、解析仕様をまとめておく必要がある。
- データ処理、解析については、反射法のイメージングだけではなく、物性把握も含めて、積極的に最新手法を試みていくことが重要である。

以 上